

あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

10

NO.878





北海道胆振東部地震 厚真町追悼式



厚真町 宮坂尚市朗町長

平穏な生活空間に潜むリスクの見える化を図りながら、時代や歴史から学び、減災の知識と備えが日常に広がることこそが、復旧から復興を目指している私たちのもう一つの願いでもあります。100年先も安心して暮らし続けられる厚真町の実現に向け、町民の皆さまと将来像を共有し、一丸となって歩みを進めることをお約束します。



北海道 鈴木直道知事

最愛のご家族やご友人など、大切な人を失われた方々のお気持ちに心を寄せますと、哀惜の念が胸にこみあげてまいります。道といたしましては、震災を風化させず未来への教訓としながら、道民皆さまの命と暮らしを守ることを最優先に誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる北海道を目指し、力を尽くしてまいります。



厚真町議会 渡部孝樹議長

私たちは皆さまと共に歩み続けながら震災から7年、復興に向かって邁進してまいりました。多くの皆さんの支えのもと、幾多の困難を乗り越え、町は一步一步確かな歩みを重ねております。復興道半ばではありますが町民がそれぞれ互いを助け合い、支え合う思いと絆こそが厚真の未来を支える礎であると確信しております。



遺族代表 中村真吾さん

私を支えたのは、人の温かさ、優しさでした。その一つ一つの思いやりが、崩れかけた心を支え直してくださいました。大切なのは、学校や職場、地域で人のつながりを深めることです。お互いに声を掛け合える関係を育てることで、いざという時、まさにそれが何よりの力になることを私は身をもって学びました。

北海道胆振東部地震から7年を迎えた9月6日、町総合福祉センターで厚真町追悼式が執り行われました。参列者139人は、厳粛な雰囲気の中で犠牲になられた37人をしのび、祈りをささげるとともに「未来創生と町の持続的発展」を誓いました。

追悼式には、ご遺族や北海道知事、国会議員など来賓が参列。室内の照明が消され、純白の菊で飾られた祭壇に向かって黙とうしました。宮坂町長が式辞を、鈴木知事や国会議員7人と渡部議長、遺族代表の中村真吾さん（表町）が追悼の辞を述べました。参列者は、祭壇前の献花台に1輪ずつ菊の花を手向けて犠牲者を悼みました。

引き続き、正午のサイレンを合図に、つたえり公園内の慰霊碑前で、町長、副町長、教育長、議長と町管理職が黙とうをささげました。吉野地区でも献花した宮坂町長は報道陣の問いかけに「状況の変化を確認し、振り返り、新たな目標や課題を整理しながら、まちづくりや復旧・復興を進めたい」と語りました。

// ひとのうごき //

人 □ 4,228人 (+2)
男 2,159人 女 2,069人

世帯数 2,124世帯 (+9)
9月30日現在 ()内は前月比

9月1日～9月30日届出分
※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

// 厚真町公式SNS //



お知らせや最新情報を発信しています！

// 広報あつまはインターネットでも！ //



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから



Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

10

NO.878

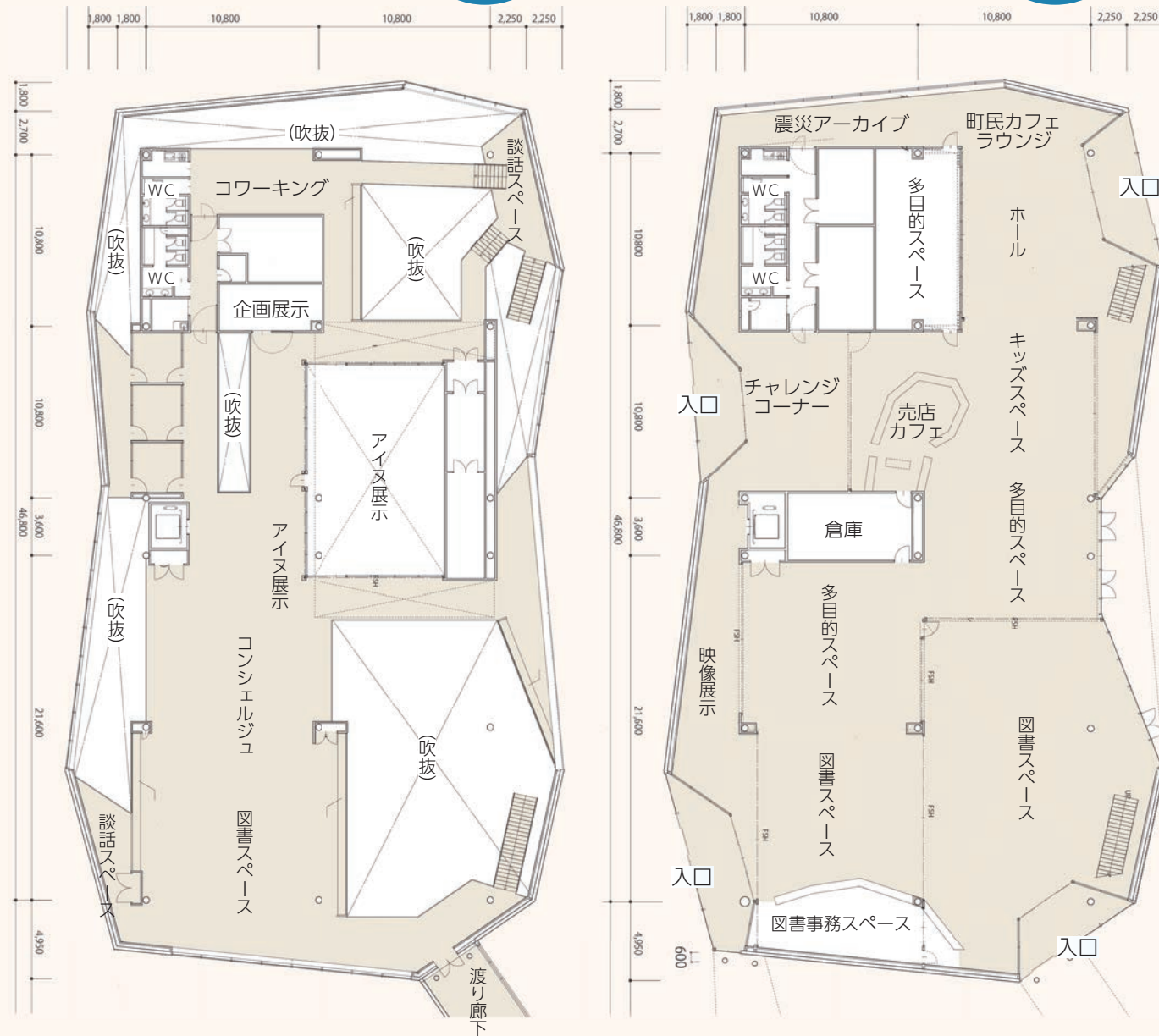
- 2ひとのうごき
- 3北海道胆振東部地震厚真町追悼式
- 4-5庁舎周辺等整備計画
- 6町からのお知らせ
- 7大沼キャンプベース
- 8-9令和7年第3回定例会
- 10-11まちの話題
- 12-13保健の掲示板
- 14健康情報／まちのアイドル
- 15こども園園児募集
子育て支援センター
- 16厚高インフォ／よりみち通信
- 17地域おこし協力隊／将来の夢
- 18防災のページ
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 19マイナ保険証を活用した救急業務を開始
LINEで停電情報をお知らせします
- 20-21情報ひろば
- 22ATSUMA LOVERS

COVER

今月の表紙



本年度の厚真町敬老会が9月17日に町総合福祉センターで開かれ、対象673人のうち226人が出席して親交を深めました。参加者の中で103歳と最高齢の大居伊三郎さん(上野)も出席。渡部議長たちとジェスチャーを交えて笑顔で歓談しました。



庁舎周辺等整備計画



文化交流施設について

町では、北海道胆振東部地震を教訓として防災力を向上し、町民の皆さまに親しまれ、集える場所となるよう、役場庁舎や文化交流施設、広場などの整備に向け、庁舎周辺等整備事業を推進しています。令和6年3月に策定した「厚真町庁舎周辺等整備基本設計」について、当初の想定よりも事業費が大幅に増加したことから、文化交流施設の設計内容を見直しましたので、その内容をお知らせします。

コンセプト

機能が連携・融合した施設づくり

- ・ヒト・モノ・コトがにつながる場所
- ・活動や挑戦をサポートしてくれる場所
- ・厚真らしさ・厚真を考える場所
- ・地域の情報ハブとなる施設

施設と広場が一体となった「まちのリビング」づくり

- ・リラックスできる場所
- ・食が楽しめる場所
- ・学習や仕事ができる場所
- ・子どもや子育て世代が過ごせる場所

町民が参加する施設の運営・活用

- ・町民と共に企画・運営することを目指した施設整備
- ・学校教育との連携
- ・新たな挑戦を後押しする施設

主な変更点

変更前

事業費	26億7,500万円(税抜)
面積	2,991㎡(渡り廊下含む)
構造	木造

変更後

事業費	28億2,000万円(税抜)
面積	2,603㎡(渡り廊下含む)
構造	鉄骨造(一部木質化)

階数	2階建て
床面積	塔屋 13㎡
	2階 1,097㎡
	1階 1,493㎡
	延べ 2,603㎡
構造・耐火	鉄骨造(一部木質化)・準耐火
主な外部仕上げ	屋根 シート露出防水断熱工法
	外壁 ガルバリウム鋼板
	開口部 アルミサッシ二次電解着色 Low-eペアガラス
主な内部仕上げ	天井 石膏ボードEP塗装、岩綿吸音板ほか
	壁 石膏ボードEP塗装ほか
	床 コンクリートこて押えはっ水材塗布 タイルカーペットほか



通年営業しています！

OHNUMA CAMPBASE

大沼キャンプベース

道内外のキャンパーに人気の大沼野営場が「OHNUMA CAMPBASE」としてリブランドオープンしました。野鳥が戯れる森などの自然環境はそのまま残し、利用目的に合わせた5つのテントサイトを整備したほか、管理棟やトイレ棟、炊事場などを整備して「快適なアウトドアライフ」の場を提供します。

また、今シーズンから使用料の町民優待制度が始まったほか、カヌーやカヤックを持ち込んで水面を楽しめるようになりました。通年利用が可能となった癒しの空間が、皆さんをお待ちしています。

株式会社ダイナックスが管理しています

施設は、都市公園における魅力と利便性の向上を図るため、公園の再整備を民間事業者と一緒に「Park-PFI制度」を活用しています。

指定管理者の株式会社ダイナックスが、場内の環境整備や施設の改修・新設を行いました。暖炉が象徴的な管理棟には、受付カウンターに加えて売店も充実。隣接して室内調理場を設け、トイレ棟や屋外炊事場も新設しました。

※指定管理とは公共施設を民間事業者に管理委託する制度です。



5種類のキャンプサイトを整備

従来のキャンプサイトを拡張して、5種類のキャンプサイトを整備しました。管理棟周辺にはフリーオートサイトを配置し、奥の水辺にはソロサイトを開設。また、区画オートサイトは「林間エリア」「芝生エリア」「レイクサイドエリア」の3タイプがあり、電源サイトとプレミアムプライベートサイトも造成しました。

このほか、沼のほとり8カ所にサイト専用を含むカヌー乗り場を設けています。

厚真町民は優待価格で利用できます

利用には、基本使用料とサイト使用料がかかりますが、町民は基本使用料が無料で、サイト使用料だけで利用できます。※本人確認のため運転免許証やマイナンバーカードが必要

(例) 大人2人が区画オートサイトを利用する場合

【町外利用】
基本使用料2,700円＋サイト使用料2,500円…5,200円

【町民利用】
サイト使用料のみ…2,500円 ※2,700円が無料
※町民と同行した町外の利用者は優待の対象外です

基本使用料

大人	1,350円
中学生以下	850円

サイト使用料

フリーオートサイト	2,500円
区画オートサイト	2,500円
ソロサイト	2,500円
電源サイト	3,500円
プレミアムプライベートサイト	4,000円

・1サイトあたり車2台、5人まで
(ソロサイトは1人)

町民は
無料

問い合わせ 大沼キャンプベース ☎070-1477-7561

予約や施設紹介はホームページをご覧ください
<https://ohnuma-campbase.hp.peraichi.com/>



町からのお知らせ

運転免許返納臨時窓口

苫小牧警察署 交通一課企画係 ☎0144-35-0110(内線 416)
厚真駐在所 ☎27-2510

運転免許返納の臨時窓口を開設します。

運転免許証の自主返納を考えている方を対象に、免許返納の臨時窓口を開設します。免許証を自主返納した方は運転経歴証明書の申請も可能です。

なお、運転免許証返納後は車の運転ができませんのでご注意ください。

持ち物

- ・運転免許証
- ※運転経歴証明書の申請をする場合
- ・写真(6カ月以内に撮影したもの、縦3cm×横2.4cm)
- ・北海道収入証紙 1,150円(交付手数料、JAとまこまい広域厚真支所で購入可能)

日 時 10月23日(木)13時～15時

場 所 厚真駐在所(京町31番地)

予 約

前日までに苫小牧警察署に電話で予約してください。

定額減税補足給付金(不足額給付金)の申請期限

住民課 福祉グループ ☎26-7872
(総合ケアセンターゆくり内)

定額減税補足給付金(不足額給付金)の申請期限は10月31日です。

町では、令和6年度に実施した当初調整給付の支給額に不足が生じた場合などに、追加で給付(不足額給付)を行っています。

対象者には「支給確認書」を発送していますので、期日までに申請をお願いします。

また、右記の給付条件をすべて満たす方は給付金対象者ですが、確認書を送付していません。そのため、申請書をダウンロードするか、役場まで請求してください。

申請期日

10月31日(金)まで

給付条件

- ①令和6年分所得税および令和6年度個人住民税所得割額ともに定額減税前税額が0円の方(本人として定額減税の対象外の方)
- ②税制度上、扶養親族の対象外の方(扶養親族等としても定額減税の対象外の方)
- ③低所得世帯向け給付(※)対象世帯の世帯主、世帯員に該当しない方
(※)低所得世帯向け給付とは次のいずれか
・令和5年度非課税世帯への給付(7万円)
・令和5年度均等割のみ課税世帯への給付(10万円)
・令和6年度新たに非課税世帯もしくは均等割のみ課税世帯となった世帯への給付(10万円)

「わたし」を知るutena cafe 開催

まちづくり推進課 政策推進グループ ☎27-3179

「わたしを知る」をメインテーマに生き方や働き方についてお話しする交流・対話セミナーを開催します。

内 容

子育てをきっかけに変わる「わたし」を知り、体のことや仕事体験などの話を聞いたり、参加者同士の対話を通じて「わたし」を知る・見直すきっかけを作ります。

対象

子育て中の方、生き方を見直したい方、働くマインドを取り戻したい方など

場 所

まちなか交流館(京町12-1)
落葉樹色のジェラートverymotch
※オンライン参加も可能

参加費

無料 ※1人1品、商品の注文をお願いします。

開催日時

10月から令和8年3月まで全10回
※時間はいずれも11時～12時30分
10月7日(火)：女性ホルモン「更年期仕組み編」
10月21日(火)：頼るチカラ
11月11日(火)：女性ホルモン「更年期実践編」
12月2日(火)：お仕事体験(営業)
12月9日(火)：腸活で育む心と身体
1月20日(火)：東洋医学×はたらく
2月3日(火)：お仕事体験(広報)
2月10日(火)：価値観ワーク
3月3日(火)：お仕事体験(庶務)
3月17日(火)：東洋医学タイプ別養生

申し込み

申し込みフォームからお申込みください



議会

令和7年第3回定例会

令和7年第3回町議会定例会が9月18、19日の2日間の会期で開かれました。
令和7年度厚真町一般会計補正予算など議案18件、報告8件、同意2件、認定6件が審議され、いずれも原案どおり可決・承認されました。また、認定6件は決算特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。

同意

- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に金光えり氏（上厚真）が任命されることが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
厚真町社会福祉協議会前会長の大橋正治さん（軽舞）の自治功労賞表彰が同意されました。
- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例

議案

- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例
- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に金光えり氏（上厚真）が任命されることが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
厚真町社会福祉協議会前会長の大橋正治さん（軽舞）の自治功労賞表彰が同意されました。
- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例
- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に金光えり氏（上厚真）が任命されることが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
厚真町社会福祉協議会前会長の大橋正治さん（軽舞）の自治功労賞表彰が同意されました。
- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例

の制定

- ◇厚南老人デイサービスセンター設置条例の廃止
- ◇厚真町高齢者生活福祉センター条例の一部改正
- ◇厚南老人デイサービスセンターの指定管理者の指定事項の変更
- ◇町道軽舞豊丘線官光橋掛替工事（上部工）請負契約の締結
- ◇財産の取得
- ◇財産の取得
- ◇令和7年度厚真町一般会計補正予算（第7号）
令和7年度厚真町一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出それぞれ2億3214万8千円が追加され、予算額は149億3141万5千円となりました。（千円以下は切り捨て）
 - ・庁舎管理事業（870万円）
 - ・庁舎周辺等整備事業（地域プロジェクトマネージャー制度（総務省）を活用した人材1人の招へい）541万円
 - ・臨海施設ゾーン活性化事業（800万円）
 - ・ゼロカーボン推進事業（638万円）
 - ・総合福祉センター整備事業（1千万円）
 - ・子育て支援住宅整備事業（500万円）
 - ・中間管理住宅整備事業（700万円）
 - ・厚南会館整備事業（980万円）
- ◇令和7年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ◇令和7年度厚真町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- ◇令和7年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保険事業勘定補正予算（第2号））

- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例
- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に金光えり氏（上厚真）が任命されることが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
厚真町社会福祉協議会前会長の大橋正治さん（軽舞）の自治功労賞表彰が同意されました。
- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例
- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に金光えり氏（上厚真）が任命されることが同意されました。
- ◇自治功労賞表彰
厚真町社会福祉協議会前会長の大橋正治さん（軽舞）の自治功労賞表彰が同意されました。
- ◇厚真町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定
- ◇厚真町子ども・子育て会議設置条例

- ◇令和7年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第1号））
- ◇令和7年度厚真町簡易水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇令和7年度厚真町下水道事業会計補正予算（第1号）
- ◇北海道市町村総合事務組合規約の一部変更
- ◇北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更
- ◇北海道市町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更

報告

- ◇所管事務調査報告（各常任委員会）
- ◇委員会調査報告（各特別委員会）
- ◇財政援助団体等に関する監査の結果報告
- ◇定期監査の結果報告
- ◇現金出納例月検査の結果報告
- ◇教育委員会の事務事業の点検・評価報告
- ◇専決処分報告
- ◇令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率
- ◇令和6年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定

認定（付託）

- ◇令和6年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和6年度厚真町簡易水道事業会計歳入歳出決算の認定

- ◇令和6年度厚真町下水道事業会計歳入歳出決算の認定
- ◇国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- ◇過疎対策の積極的推進のための意見書

一般質問

- 折坂泰宏議員、伊藤富志夫議員、橋本豊議員、菅原文子議員、澤口千里議員の5人が一般質問に立ちました。
折坂議員は水質改善義務化の対応と心のケアについて、伊藤議員は高丘地区大規模開発跡地利用とアンコンシャス・バイアスのまちづくりについて、橋本議員は道道、町道に設置されている土のうフレコンの撤去と道路の維持管理について、菅原議員は防災・減災とZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の推進について、澤口議員は切れ目のないケアラー支援と本町の財政について、それぞれ質問しました。

行政報告

- ◇カムチャツカ半島付近の地震による津波避難対応について
最初に、7月30日に発生したカムチャツカ半島付近の地震による津波避難対応についてご報告申し上げます。
7月30日午前8時25分ごろ、カムチャツカ半島付近を震源とするマグニチュード8.8の地震が発生しました。日本国内での震度は、道東で震度2、北海道から九州の各地で震度1を観測しました。午前8時37分、当該地震に伴う津波に対して、北海道太平洋沿岸

かけてまいります。

- ◇令和7年9月13日の大雨・強風への対応及び公共施設等の被害について
次に、9月13日深夜から翌14日明け方にかけて発生した大雨・強風への対応状況及び公共施設等の被害状況についてご報告申し上げます。

- 9月13日午後2時、気象庁の早期注意情報において大雨警報の発表確度が「高」とされたことから、夜間の降雨に備え、町は「注意配備」体制を敷き、災害対策連絡本部を設置の上、室蘭地方気象台等からの情報収集に努めました。
同日午後4時50分には、防災行政無線等を通じて大雨及び強風への注意喚起を実施し、防災担当を中心とした警戒体制を強化しました。

- アメダスの観測によれば、13日午後6時から14日午前6時までの12時間降水量は30ミリ、最も風が強かった13日午後11時から翌14日午前0時の時間帯における平均風速は12.5メートル毎秒でした。

- 9月14日午前6時、天候の安定を確認したため、「注意配備」体制を解除しました。

- 今回の大雨・強風を受け、14日から職員等による町内の被害状況確認を実施しています。現在までに確認された被害として、本郷いこいの森パークゴルフ場において土砂等の流入があり、当面の間、使用を中止しています。このほか、複数箇所でも農作物の倒伏や倒木が確認されており、詳細は調査中です。幸いにも大事には至っておりません。



鵜川漁協厚真支所のホッキ部会が 給食用にホッキ貝寄贈

鵜川漁業協同組合厚真支所のホッキ部会(西舘純之部会長)は9月3日、前浜で水揚げしたホッキ貝約230kg(殻付き)を町教育委員会に寄贈しました。

給食用のホッキ貝の寄贈は平成22年から続いていて、子どもたちも楽しみにしています。遠藤教育長は「子どもたちもホッキ貝が大好きで、毎年、この時期が来るのを楽しみにしています。とても感謝しています」と話すと、西舘さんは「おいしいので、残さずに食べてください」と微笑みました。

ホッキ貝は、9月10日に厚真町学校給食センターでホッキカレーに調理され、宮の森こども園、こども園つみき、上厚真小学校、厚真中央小学校、厚南中学校、厚真中学校、厚真高校で約620食分が振る舞われました。



ホッキ貝を寄贈する西舘さん

津田豊子さんに町が百寿祝い品贈る



百寿を迎えた津田さん

グループホーム「夢ふうせんやわらぎ」で9月8日、この日百歳の誕生日を迎えた津田豊子さんに町長から百寿の祝い品などが贈られました。

留萌市出身の津田さんは、結婚を機に24歳で厚真町に移住し、夫と共に貴金属店を営みながら3人の子どもを育てました。社交的で、今もおしゃべりが好きといいます。

この日は、長女の川西和恵さんなど親類も同席して長寿を祝いました。宮坂町長は「末永く、お元気でお過ごしください」と声をかけて賞状と祝い金を手渡すと、津田さんは「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べ、やや緊張した面持ちで記念撮影に応じました。

レッドイーグルス北海道が 町を表敬訪問

町と包括協定を締結しているレッドイーグルス北海道代表取締役の飯塚靖社長と小川勝也監督が9月9日に町長を表敬訪問し、今シーズンのユニフォームを贈呈しました。

飯塚社長は「ホーム開幕戦に、厚真町の小中学生を無料招待します。トップ選手のスピード感や迫力を間近で体感してほしい」と語り、町長は「応援していますので、優勝を目指して頑張ってください」とエールを送りました。

包括協定では、スポーツを通じた観光や商業振興、子どもたちの健全育成や健康寿命の増進などを図り、持続的発展を目指しています。



町長を挟んで記念撮影する飯塚社長(左)と小川監督(右)

第1回厚真町津波防災地域づくり 推進協議会を開催



再任後にあいさつする定池会長

本年度の第1回厚真町津波防災地域づくり推進協議会が8月21日に厚南会館で開かれ、カムチャツカ半島沖地震への町の対応や今後の方針などを協議しました。

会議には、町から委嘱を受けた推進協議会委員12人を含む26人が出席。役員改選で、会長に東北学院大学准教授の定池祐季さん、副会長の室蘭工業大学教授の有村幹治さんを再任しました。会議では、7月30日に発生したカムチャツカ半島沖地震による津波避難対応が報告され、交流サイト(SNS)等を使った呼びかけで浜厚真海岸に居た約50人のサーファーが避難したことなどが紹介されました。

今後は、2回の会議を経て、来年3月に「厚真町津波防災地域づくり推進計画第3版」を公表することを確認しました。定池会長は「関係機関との連携を進め、津波防災地域づくりに役立てたい」と話しました。

厚真町戦没者追悼式

厚真町戦没者追悼式が8月22日、総合福祉センターで営まれ、遺族など関係者約40人は恒久平和を願い戦禍で犠牲になられた114人を悼みました。

戦後80年を迎え、宮坂町長は「平和を希求する努力を続け、町民一丸となってふるさとの明るい未来を切り拓きたい」と式辞を述べました。また、北海道知事代理や渡部議長、一般財団法人北海道連合遺族会は「戦争を知らない世代が8割を超えました。次世代に歴史を語り継ぎ、恒久平和を尽くしたい」と追悼の辞を述べました。厚真町遺族会会長の藤井隆之さんは「戦争を語り継ぐ責任は一層、重くなりました。平和の尊さをかみしめられるように、日々努力していきます」と謝意を伝えました。



厚真町遺族会を代表して謝辞を述べる藤井隆之さん

東北学院大学の学生が被災地を学ぶ

町防災アドバイザーを務めている東北学院大学准教授の定池祐季さんのゼミの学生が8月22日、吉野・富里・幌内地区の被災地を訪れ、発災から7年目を迎える胆振東部地震について、町の職員から概要を学びました。

一行は、東日本大震災を経験した東北5県の出身者9人で、災害社会学などを学んでいます。学生は、甚大な被害が出た吉野地区などを訪れ、真剣な眼差しで町の防災担当職員から発生直後の様子や復興の道のりなどの説明を聞きました。厚真町での実地研修は初めてで、21日から23日まで滞在。イベントも手伝い町民との交流を深めました。



町職員から胆振東部地震の概要を聞く学生



こどもの予防接種

接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時 (この時間は一般診療休み)	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～19歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15	水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ (保健師) までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス (1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回) 27日以上あけて2回 (追加) 1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ (※1)	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 生後12～15カ月未満 (初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (※1) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加) 初回後12～18カ月あけて1回
五種混合 (※2) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加) 初回6～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
B C G	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期) 生後12～24カ月まで (2期) 年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回) 生後12～15カ月未満に1回 (追加) 初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ (任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期) 生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期) 9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回) 3歳: 6～28日あけて2回 (1期追加) 4歳: 1期初回終了後約1年あけて1回 (2期) 9歳: 1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生 (6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。

【重要】四種混合ワクチンの生産終了の決定に伴い、接種可能期間はワクチンの在庫がある間までとなりました。四種混合の計4回接種が完了していない方は、必ず健康推進グループまでご相談ください。

(※2) 令和6年4月1日から新たに接種を開始する方は、五種混合ワクチンが適用されます。(ヒブおよび四種混合は対象外)



保健の掲示板 11月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)



健診・検診・相談・教室など

総合がん検診

対 象	①胃がん：40歳以上 ②大腸がん：40歳以上 ③前立腺がん：50歳以上の男性	④乳がん：40歳以上の女性 (昭和偶数年生まれ) ⑤子宮がん：20歳以上の女性 (昭和偶数年生まれ・平成奇数年生まれ)
と き	11月7日(金)、令和8年1月13日(火) ※時間等は申込者に後日通知	
と こ ろ	北海道対がん協会札幌がん検診センター (厚真町からの送迎あり) ※②のみの場合は、センターへの来院不要	
申し込み	検診実施日の1カ月前までお申し込みください。 詳細は、広報あつま9月号折込の案内チラシをご覧ください。 ※要事前予約	

乳児健診

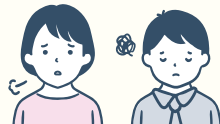
対 象	①令和7年5月21日～令和7年8月19日生まれ ②令和6年11月21日～令和7年2月19日生まれ	と き 11月19日(水) 総合ケアセンターゆくり と ころ ※個別に案内
持 ち 物	母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ (②のみ)	

こころの相談

心身ともに、こんな変化はありませんか？

- ・眠れない
- ・人の視線が気になる
- ・人に会いたくない
- ・以前よりイライラする
- ・何事にも集中できない
- ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など

ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。



と き 10月17日(金)、11月21日(金)
10時～15時 (1人あたり50分程度)

と こ ろ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までに健康推進グループにお申し込みください。

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相 談 ・ 検 査 の 名 称	日 程
女性の健康相談	第1木曜日 ※休日の場合は第2木曜日
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	
肝炎ウィルス検査・梅毒検査	月2回
感染が疑われる方は無料 (要事前確認)	
骨髄バンク登録	要事前予約 (随時受付)
登録の基準があります	
HTLV-1抗体検査	要事前予約 (随時受付)
10日前までに予約してください	
HIV検査(エイズ相談)	月2回
無料、匿名検査 (要事前確認)	
エイズ専用電話☎0144-35-7474	

11月の夜間・日曜・祝日の医療機関

内科・小児科系

苫小牧市夜間休日急病センター
住 所 苫小牧市旭町2-9-2
電 話 0144-32-0099
平 日 19時～翌朝7時
診療時間 土 曜 日 14時～翌朝7時
日曜祝日 9時～翌朝7時

外科系

日 程	病 院 名	住 所 (苫小牧市)	電話(0144)
2日(日)	光洋いきいきクリニック	光洋町1-16-16	71-2700
3日(月祝)	とよた腎泌尿器科クリニック	元中野町2-17-12	31-2000
9日(日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
16日(日)	苫小牧白翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
23日(日)	アーク整形外科クリニック	ときわ町3-15-34	68-6111
24日(月祝)	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455
30日(日)	こうよう泌尿器科クリニック	光洋町2-6-13	82-8620

※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。



北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます

<http://www.qq.pref.hokkaido.jp> ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699 (携帯・PHSから)

こども園つみき(公立) 宮の森こども園(私立) 令和8年度 園児募集

認定について

こども園を利用するには、支給認定の申請が必要です。
対象年齢は令和8年4月1日現在となり、認定区分で内容や利用時間が異なります。

教育	保育 ※保育の事由に該当する場合	
1号認定	2号認定	3号認定
満3歳以上	満3歳以上	生後6カ月以上満3歳未満
教育標準時間認定 教育時間：8時45分～13時	「保育の必要な事由」に要する時間が1日あたり8時間以上 保育標準時間認定 保育時間：7時30分～18時30分 「保育の必要な事由」に要する時間が1日あたり4時間以上8時間まで 保育短時間認定 保育時間：8時30分～16時30分、9時～17時	

保育の必要な事由と 保育の必要量について

右記の「保育の必要な事由」に保護者全員が該当すると認められる場合に、保育を受けることができます。事由により保育の必要量(利用できる時間)が判定されます。

保育の必要な事由	標準時間認定	短時間認定
①月に48時間以上の就労	○	○
②妊娠・出産(期間に一定の制限があります)	○	
③疾病・負傷・障がい有している	○	
④同居の親族(長期間入院等を含む)の介護・監護	○	○
⑤震災・風水害・火災その他の災害の復旧	○	
⑥継続的な求職活動・起業の準備		○
⑦就学・職業訓練等	○	○
⑧児童虐待・DV	○	
⑨育児休業中で、すでに保育を利用している子がいて継続利用が必要な場合(下の子が2歳になる月の末日まで)		○

募集期間

10月20日(月)から11月21日(金)まで

※支給認定証の交付および入園決定通知は12月下旬に送付する予定です。
※園児の面談および入園説明会などは入園決定後に各こども園で行います。
※令和7年度から継続して利用する場合の提出書類は各こども園から配布します。

提出書類

〔新規入園園児〕

- ①支給認定申請書兼こども園利用申込書
- ②就労証明書など(2号・3号認定)
- ③アレルギーに関する調査票

- ・上記以外にも書類の提出が必要になる場合があります。
- ・必要書類はこども園でも配布しています。町ホームページからもダウンロードできます。※すべての書類がそろい次第、提出してください。

〔継続利用園児〕

- ①現況届
- ②就労証明書など(2号・3号認定)

提出・問い合わせ

住民課 子育て支援グループ(総合ケアセンターゆくり内) ☎26-7872
※上厚真支所と各こども園でも申し込み書類を受け付けます。



町ホームページ



担当

保健師 かきざき ひとみ
柿崎 瞳

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

今月のテーマ

貧血とは？ ～日常生活の工夫で貧血を予防しましょう～

立ち上がった時にフラフラする、疲れが取れない等の経験はありませんか？もしかすると、貧血のサインかもしれません。厚生労働省によると20～40歳の女性のうち65%が貧血と言われています。症状が出ない場合が多く、貧血の背景には別の病気が隠れている場合もあるため、早めに気づいて対処することが大切です。

血液の中の赤血球の中には、ヘモグロビンというたんぱく質があり、ヘモグロビンは肺で酸素と結合して酸素を全身へ運びます。

貧血は、ヘモグロビンが減り、体中の骨や臓器に十分な酸素を運べなくなる状態を指します。貧血の基準値は、ヘモグロビン濃度が男性13.0g/dl未満、女性は12.0g/dl未満です。女性に多いイメージがありますが、男女や年齢に関係なく誰でも発症する可能性があります。

貧血の症状と要因

- 下まぶたの裏が白い▽眼瞼結膜の毛細血管の血流不足
- めまい・立ちくらみ▽脳への酸素供給が不足
- 疲れやすい・だるい▽体中の細胞に酸素が届けられず、エネルギーが作られない

貧血の種類と原因

- ①鉄欠乏性貧血▽体内の鉄分不足で起こる
 - ②巨赤芽球性貧血▽ビタミンB12や葉酸不足で起こる
 - ③溶血性貧血・先天性の遺伝子異常や自己免疫疾患により、赤血球が体内で壊されることで起こる
 - ④再生不良性貧血・赤血球や白血球、血小板を作る機能の低下により起こる
 - ⑤病気等による出血 など
- 1日3食、バランスの良い食事をする(赤血球を作る)



- エネルギーとなる鉄分を含む食品を積極的にとる(例レバー、赤身肉、青菜類、魚介類、大豆製品等)
 - ビタミンCと鉄分を含む食品を一緒にとる(鉄分の吸収を助ける働きがある)
 - 例)ツナ+じゃがいも、厚揚げの煮びたし+いちじく
 - 食前のコーヒー・紅茶・緑茶を控える(鉄分の吸収を妨げる働きがある)
 - 十分な睡眠と休養をとる
 - 毎年健診を受けて自分の身体の状態を知る
 - かかりつけ医に相談し適切な治療を受ける
- 貧血は、誰でもなりうる身近な状態です。自覚症状がある場合は、放置せずにかかりつけ医等を受診しましょう。また、迷ったときは、住民課健康推進グループに気軽に相談ください。

子育て支援センター 11月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 かんたんパン作り

内容：ひと晩寝かせて、こねずに焼ける簡単手作りパン！
日時：11月5日(水) 10時～11時
場所：厚真子育て支援センター
参加費：500円(材料費)
持ち物：保冷バック・保冷剤
定員：7組
申し込み：10月29日(水)まで

子育て講座 フラワーアレンジメント

内容：初心者でも簡単！！好きなお花を選んでアレンジメントを楽しみませんか？
日時：11月11日(火) 10時～11時
場所：厚南子育て支援センター
参加費：1000円
定員：7組
申し込み：11月4日(火)まで

地域子育て相談機関

月曜～金曜日 15時～17時(要予約)
皆さんの子育てに親身に寄り添いサポートします。
困った時は一人で悩まず、ご相談ください。

LINEで予約



せなさん

まちのアイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp



こはるさん

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈9月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷9人 協働型▷5人 スポーツ▷1人

起業型地域おこし協力隊

いいざわ こうき
飯澤 公規さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：留萌市



—これまでの経歴について教えてください。

小学生の頃から洋服に興味を持ち、将来は服に携わる仕事をしたいと自然に思うようになりました。高校卒業後は札幌の服飾専門学校に進学し、デザインやパターン、縫製など幅広く学びました。卒業後は客として通っていたセレクトショップに就職し、販売員として約17年間働きました。接客販売のほか、商品の仕入れや予算管理、人材育成など、店舗運営の全般を担ってきました。

—厚真町に来たきっかけは？

サーフィンが趣味なので、十数年前から浜厚真海岸に通っていました。それ以前にも山菜採りや溪流釣りで訪れることも多く、厚真町は不思議と縁のある町でした。30歳を過ぎて独立を考え始め、札幌や東京での開業も検討しましたが、インターネット通販の普及やコロナ禍といったファッション業界の変遷を経験し、「都会にこだわる必要はない」という気持ちが強くなりました。せっかくであれば大好きな土地で開業したいと思い、厚真町が真っ先に浮かびました。

—どのような事業を始める予定ですか？

洋服を軸に、サーフィンやスノーボード、アウトドアなどライフスタイル全体を提案できるセレクトショップをつくりたいと考えています。都会のお店やインターネットでしか手に入らない商品も取りそろえ、商品の製造背景などもご案内しながら、実際に手に取って本当に気に入ったものが購入できるお店にしたいです。ファッションに興味のない方も、ちょっとしたプレゼントを探すなど、気軽に訪れてほしいと考えています。また、空港やフェリーターミナルに近いので、サーフィンやスノーボードで訪れた道外の方が立ち寄りやすい地の利を生かし、来町するきっかけになればうれしいですね。

—ローカルベンチャースクールに参加した感想は？

参加してよかったです。独立に向けて一人で考えていても、分からないことだらけでした。多方面の専門家からアドバイスをもらえたことで、課題も明確になり、自分がすべきことが分かりました。挑戦している仲間との出会いも刺激になりました。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

育まれる連帯感

町内の田んぼで9月12日、厚真高校1年生と一緒に稲刈りを行いました。泥にまみれながら春に苗を植えて育てた稲です。前日の降雨で田がぬかるんでおり、生徒たちは汚れることにどれくらい抵抗があるのか気にしていましたが、心配はよそに1人が率先して動き始めると一斉に作業を進めてくれました。たくましさを実感した瞬間です。

実は、春の田植えでは、汚れることに拒否反応を示したり欠席する生徒もいたのです。あれから4カ月。作業への関わり方に大きな変化が生まれました。刈り取った稲をバケツリレー方式であぜ道にまとめる作業での出来事です。学校祭などの学校行事を経験していくうちに主体性が育まれ、クラスの中で「黙々と作業を進める生徒」「作業中に全体の雰囲気盛り上げる生徒」「先生からの指示を皆に伝達する生徒」と役割分担が進み、作業効率は格段に上がり、クラスの連帯感が生まれていました。

今月から厚高の生徒会は、2、3年生から1、2年生に移行します。稲刈りで体現してくれた連帯感を更に高め、生徒会活動も大いに盛り上げてほしいと思っています。

この学年の長所は「全体の雰囲気作りで人を巻き込んでいく」。学校生活の中で経験を積み重ね、新入生に優しく頼りがいのある上級生になるよう、手を差し伸べながら見守っていくつもりです。

教育魅力化支援員 山中 恵杜



Vol.310

学校の取り組みはホームページでも！



■第33回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会（8月22日～29日）

今夏の全国高校総合体育大会陸上競技の砲丸投げで優勝した2年生の大垣尊良さんが、陸上競技日本選手団の一員として中国で開かれた「第33回日本・韓国・中国ジュニア交流競技会」に出場しました。オリンピックを目指し、今後も各種大会や合同合宿等に参加します。経験を重ねて、夢をかなえてほしいと願っています。

■高文連美術部支部大会（8月21日）

苫小牧市文化交流センターで、高文連美術部支部大会が行われました。夏休み中、学校運営協議会委員の加藤恵子さんに出席作品の指導をしていただきました。4人の生徒が参加し、奨励賞を受賞した2年生の中野心睦さんの全道大会出場が決まりました。

■バドミントン合同合宿（8月5日～8日）

厚真町スポーツセンターで、東胆振管内3校（苫小牧東高、鶴川高、厚真高）のバドミントン部合同合宿が行われました。連日、技術面や精神面の向

上に加え、同年代との交流を図るなど、多い時間を過ごしました。

■夏休み明け全校集会（8月22日）

本校体育館で、夏休み明けの全校集会を開きました。生徒たちは、約1カ月の夏休みを終えて、家庭や地域活動への参加、学習や部活動等を通じてひと回り大きく成長した様子が見えま



した。引き続き、夏休み前に出されていた課題の定着を図ることを目的として、確認テストを行い、真剣な表情で取り組んでいました。

■高文連写真部顧問会議・高文連支部写真展（8月29日）

午後から本校体育館で、今年度の写真部顧問会議が開かれました。苫小牧支部参加校9校の顧問と審査委員が参加して、9月10日開催の支部高文連写真展に向けて、事前審査や確認事項を協議しました。写真展は、町総合福祉センターで、約150人の生徒が参加して開催されます。

■前期期末考査（9月4日～9日）

前期期末考査を行いました。厚真高校をはじめ、全道のほとんどの学校が2学期制や2期制（単位制）を導入しています。今回の考査は、4月から学習した前期最後の確認となりました。

消防からのお知らせ



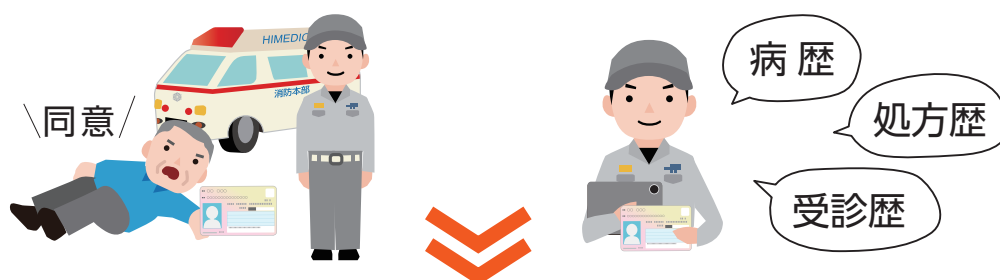
胆振東部消防組合 ☎26-7100

マイナ保険証を活用した救急業務を開始

傷病者のマイナ保険証（健康保険証利用登録をしたマイナンバーカード）を活用した救急業務が10月1日から、全国一斉にスタートしました。胆振東部消防組合消防本部では、5隊で運用します。傷病者本人の同意を得て、マイナ保険証の医療情報等を救急車内の専用機器で読み取り、救急隊員が情報を共有して適切な処置や搬送先医療機関を選定するなど効率的に救急業務を行います。

マイナ救急の流れ

傷病者が情報の閲覧に同意する → マイナンバーカードを読み取る ※暗証番号の入力は不要 → 救急隊員が傷病者の医療情報を閲覧する



- ・傷病者の説明負担が軽減
- ・適切な処置が受けられる

防災のページ

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

避難所生活の注意事項

災害が発生して避難所で生活する場合、限られた空間の中で大勢の人が共同生活することになります。避難所で快適に過ごすためには、ルールを守り避難者も避難所運営に関わって良好な環境を保つことが大切です。次の4つのポイントを心掛けてください。



●生活ルールを守りましょう

起床・就寝時間、トイレの使い方、喫煙場所などのルールを守りましょう。ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げるのはマナー違反です。女性や子ども、高齢者等の要配慮者の意見をよく聞きましょう。

●生活環境の改善に努めましょう

段ボールベッドやパーテーションがあると便利です。居住スペースは土足禁止にして、衛生環境を維持しましょう。

●役割分担して運営に参加しましょう

できる範囲で助け合いながら避難所運営に参加しましょう。

●犯罪に気を付けましょう

不審者を見かけた場合は、警察官や施設担当者に連絡しましょう。



車の中で
避難生活をする場合

エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒に注意しましょう

- ◇長時間同じ姿勢でいるのは避け、できるだけ体を動かしましょう
- ◇十分な水分を取りましょう
- ◇定期的に換気しましょう

住宅用火災警報器を設置しましょう



住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は8月末時点で全世帯数の93.0%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

「地震火災」を知っていますか？

東日本大震災で発生した火災では、原因が特定できた火災のうち過半数が電気に起因していました。停電から再通電時に火災が発生する、いわゆる「通電火災」の発生が懸念されています。

現在では「耐震ブレーカー」もありますので、ご家庭のブレーカーを確認していただくことも重要です。大切な生命・財産を守るための心がけです。

●具体的に想定される「通電火災」の要因

- ・転倒した家具の下敷きになり損傷した配線などに再通電して発熱・発火する。
- ・落下したカーテン・洗濯物といった燃えやすい物がヒーターに接触した状態で再通電して着火する。

●「通電火災」を防ぐために

- ・停電中は電化製品のスイッチを切り、電源プラグを抜く。
- ・避難するときはブレーカーを落とす。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119

ほくでんネットワーク
LINEで
停電情報をお知らせします!

30秒でかんたん登録!

▼詳しくはこちら



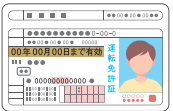
＜お問い合わせ＞

北海道電力ネットワーク(株)道央南統括支店お客さまサービスグループ
電話：0120-060-852（平日：9時～17時）



運転免許証更新時講習

11月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。その他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

【10時30分～11時】

4日(火)、5日(水)、6日(木)、11日(火)
12日(水)、14日(金)、18日(火)、19日(水)
21日(金)、27日(木)、28日(金)

【13時30分～14時】

7日(金)、13日(木)、20日(木)、25日(火)
(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

町税・保険料
今月の納期

科目	町 道 民 税 (第2期)
	介 護 保 険 料 (第3期)
納期	10月31日(金)

問い合わせ
住民課 税務グループ☎26-7871
住民課 福祉グループ☎26-7872

まちの善意

社会福祉協議会への寄付



こぶしの湯あつま イベントカレンダー 11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2 [3倍] ちびっこ	3 シルバー	4 メンズ	5 休館日	6 [3倍] レディース	7	8
9 ちびっこ	10 シルバー	11 メンズ	12 [3倍] 高齢者券	13 レディース	14 [2倍]	15
16 [3倍] ちびっこ	17 シルバー	18 メンズ	19 高齢者券	20 レディース	21	22 [3倍]
23 ちびっこ	24 シルバー	25 [2倍] メンズ	26 [3倍] 風呂の日	27 レディース	28	29
30 ちびっこ						

毎週日曜 ちびっこデー▷小学生はスタンプ2個

毎週月曜 シルバーデー▷65歳以上はポイント3倍

毎週火曜 メンズデー▷男性はスタンプ2個

毎週水曜 高齢者無料入浴券の日▷町交付の無料券利用で
レストランのヘルシーセットが890円→700円

毎週末曜 レディースデー▷女性はスタンプ2個

毎月26日 風呂の日▷町民は入浴無料(身分証明書を提示)
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個

2と6のつく日▷ポイント3倍(風呂の日を除く)

5のつく日▷町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

自衛官募集

自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所
☎0144-32-3725

※受付期間は締切日必着
※試験日程が急に変更になる場合があります。

■一般曹候補生(第3回試験)
応募資格▷18歳以上33歳未満
(32歳は要連絡)

受付期間▷11月21日(金)まで
試験日程▷11月29日(土)～12月4日(木)の1日

試験科目▷筆記試験(ウェブ試験:国語・数学・英語・作文・適性検査)

※第2回試験までの採用数で実施しない場合があります。

■自衛官候補生(第4回試験)
応募資格▷18歳以上33歳未満
(32歳は要連絡)

受付期間▷10月14日(火)～11

月6日(木)
試験日程▷11月16日(日)または17日(月)

試験科目▷筆記試験(ウェブ試験:国語・数学・社会・作文・適性検査)、口述試験、身体検査

■高等工科学校生徒(一般)
応募資格▷令和8年4月1日現在15歳以上17歳未満

受付期間▷令和8年1月15日(木)まで

試験日程▷令和8年1月24日(土)または25日(日)

試験科目▷筆記試験(国語、社会、数学、理科、英語、作文)

※合格者に2次試験日を指定

町職員の人事異動

(一)内は主務

◆異動(10月1日付)

・建設課長(事務取扱)

(兼解)、副町長▼西野

和博

・建設課長▼田中紀嘉

(建設課都市施設担当

参考)

・建設課土木・上下水

道担当参事▼松浦健

二(建設課主幹土木グ

ループ)

・総務課主幹財政グ

ループ▼大平賢(総務

課主査財政グループ)

・建設課主査上下水

道グループ▼大川琢

哉(総務課主査財政グ

ループ)

・建設課主査土木グ

ループ▼長谷川翔吾

(建設課主任土木グ

ループ)

・総務課主任財政グ

ループ▼中山亮(住民

課主任福祉グループ)

・建設課主任土木グ

ループ▼金山舞美(建

設課主事土木グルー

プ)

◆新規採用(10月1日

付)

・住民課主任福祉グ

ループ▼小西裕太

・住民課主事子育て支

援グループ▼畠山有希

みんなチェック！最低賃金

北海道内の事業場で働くすべての労働者(会社員、パート、アルバイトの方、学生さんなど働くすべての人) およびその使用者に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

■北海道最低賃金
時間額1075円

■問い合わせ
北海道労働局最低賃金係 ☎011-709-2311、内線3533

津波防災地域づくり講演会 in 苫小牧

道民の皆さんに津波防災対策を深く理解していただくため、苫小牧市で「津波防災地域づくり講演会」を開催します。参加は無料です。

■日時
10月29日(水) 13時45分～15時15分(開場13時)

■場所
苫小牧市民会館(苫小牧市旭町3丁目2番2号)

■講師・演題
東京大学大学院情報学環特任教授 片田敏孝氏「巨大津波想定にどう向かい合うか」

■定員
1600人

申し込み

10月20日(月)までにインターネットでお申し込みください。

■問い合わせ
北海道建設技術センター総務部 ☎011-218-1760
(北海道建設部建設政策局維持管理防災課施設防災係) ☎011-231-4111、内線29-763

東胆振精神保健大会

東胆振精神保健協会は、苫小牧市民会館で令和7年度東胆振精神保健大会を開きます。表彰式のほか講演や授産製品の展示・販売を行います。入場は無料です。

■日時
11月8日(土) 13時30分～15時30分

■場所
苫小牧市民会館3階小ホール

■内容
①表彰式(東胆振精神保健事業功績者、心のアト展2025受賞者)、②札幌花園病院睡眠医療センター・本間さとセンタール長の講演など

■問い合わせ
苫小牧保健所健康推進課保健係 ☎0144-77-9935

水資源保全地域内の土地取引行為に係る事前届出について

北海道では、豊かな水資源の恵みを将来の世代においても享受できるよう、全国に先駆けて「北海道水資源の保全に関する条例」を制定しています。

条例に基づき指定された水資源保全地域で土地取引を行う場合は、契約締結の3カ月前までに、その土地を所管する総合振興局・振興局などに届出が必要です。

北海道のホームページで指定地域を確認できます

北海道・厚真町

①売買前に届出(3カ月前)

②水資源保全指針等に沿って助言

③助言内容を伝達

買主

土地所有者(売主)

水資源保全地域

北海道総合政策部計画局 土地水対策課水資源保全係 ☎011-204-5178

いきいきサポートサロンに参加しませんか？

いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話したい時など、自由に利用できます。

月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動しませんか？人生の先輩から知恵と技術が学べます。

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10	11	12	13	14
17	18	19	20	21
24	25	26	27	28

月・木 介護予防体操【10時～11時】 担当：高橋/村上/山崎 ストレッチ、有酸素運動、脳トレ

火 介護予防体操【10時～11時】 担当：板垣 がんばらない椅子ヨガなど

水 趣味の活動【13時～15時】 クラフトテープのかご編み

金 ババカフェ【10時～15時】 高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン 京町34 ☎29-7535

開放時間▶月曜～金曜日 9時30分～17時
無料水分補給カフェコーナー▶月曜～木曜日 9時30分～15時



Vol.66 99歳の現役農家
こまつ いわお
小松 岩雄さん

アキアカネが飛び交う夕暮れ時の上野地区に、コンバインのエンジン音が響いていました。ハンドルを握るのは、現役農家で99歳の小松岩雄さんです。収穫した「ななつぼし」を軽トラツクの荷台に移し、車を取り換えてライスセンターに持ち込みました。「よつ、待たせたね」。自宅裏の手作りのログハウスで、小松さんに話を聞きました。

“人の幸せは自分の幸せ”

小松さんは、豊丘地区で生まれました。水害をもたらす厚真川の河川改修のため自宅を手放し、昭和12年に上野地区に移り住みました。「両親は働き者だった。当時は今みたいに機械がないから、くわで田んぼを耕したり、馬耕だったんだよ」。厳しい生活の中でも地域住民の情に支えられて今があることを述べ、馬車の名残の鉄輪も、大切に保管されています。「何事も一生懸命やりきり、悔いを残さないことを、両親から学びました。育ててくれた両親に恩返ししたいけど、もういないからね」。

「人と会うのが大好きなんだ。ボランティア活動もそう。先生の楽しい顔を見ると、幸せになるんだよ」。あまりテレビを見ない代わりに趣味の読書は欠かしません。青少年センター図書室から年間約70冊の本を借り、ログハウスには、人生訓を記した書籍や農業、健康法に関する本がズラリと並んでいます。向学心にあふれています。

健康には、人一倍気を使います。1日2回の玄米食と、庭で作った大根や里芋、トマトを加工しておかずにする野菜中心の食事です。楽しい仕事を続けていると、食欲も旺盛で快眠できる。自分に正直であり責任を持つことが大切だと教えてくれました。

「色々な壁に遭遇しても、必ず乗り越えられる。前向きな姿勢が長生きのコツかな」